

第2次安曇野市観光振興ビジョン策定検討委員会

令和4年 7月 14日(木)

第1回策定検討委員会

資料

【目次】

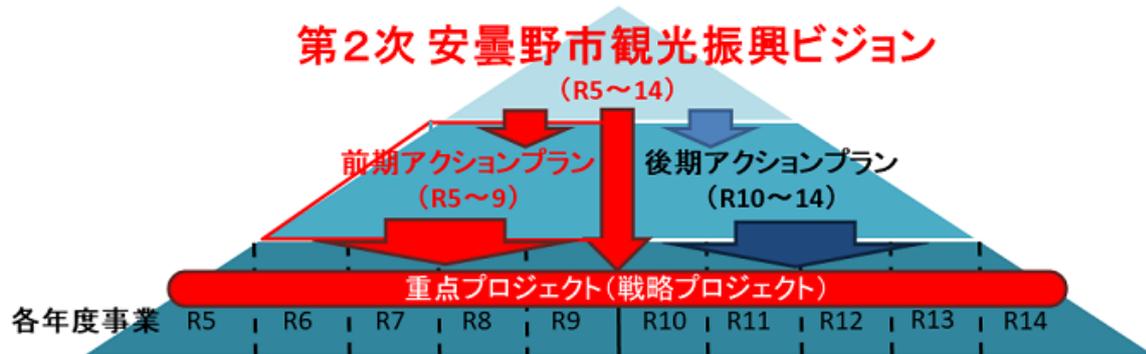
P2 :資料 1 策定の趣旨と流れ

P5 :資料 2 委員・事務局名簿、プロフィール

P10:資料 3 第2次安曇野市観光振興ビジョン策定検討委員会設置要綱

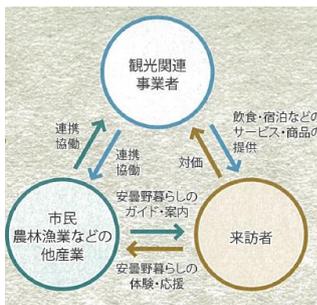
別添:市民アンケート調査【速報】、事業所アンケート調査【速報】

- 観光振興に向けた長期的（10年間）な方向性・施策の枠組みや重点を置くべき点などを「ビジョン」として定め、その実現に向けた具体的な取り組み内容を「前期アクションプラン」として策定します。



3 ビジョン策定にあたっての基本的な方針

- 前ビジョンの理念の継承



- ・観光関連事業者だけが取り組むものではなく、観光関連事業者や、市民や農林漁業者をはじめとしたすべての産業の事業者、行政が連携・協働すること。
- ・来訪者には安曇野の魅力を伝え豊かな旅を提供し、私たちは地域資源の磨き上げや来訪者との交流を通じて豊かな生き方を実現すること。

- 前ビジョンの課題・反省を生かす（＝高い**実効性**の担保）

$$\text{実効性} = \text{実現性} + \text{有効性} + \text{効率性}$$

- ・ビジョンを実現、達成するための具体的な行動計画（アクションプラン）を定める
- ・ビジョンを推進する体制や方法を確立する
- ・ビジョンの進捗や達成状況を管理し点検・評価する機能や、指標（KGI・KPI）を定める

- 世界・本国の情勢、話題を踏まえる

- ・SDGsへの貢献

JNTO（日本政府観光局）「SDGs への貢献と持続可能な観光（サステナブル・ツーリズム）の推進に係る取組方針」を策定（R3/6）、観光庁・UNWTO（国連世界観光機関）駐日事務所は「日本版 持続可能な観光ガイドライン」を発行（R2/6）

- ・アフターコロナ

観光庁「アフターコロナ時代における地域活性化と観光産業に関する検討会」最終取りまとめ（R4/5/31）→「稼げる地域・稼げる産業の実現」

- 新たな要素、市の主要施策を取り入れる
 - ・アドベンチャートラベル
 - ・山岳観光
 - ・フィルムコミッション機能の充実
 - ・インバウンド
 - ・シェアサイクル
 - ・●●（アウトドア、アニメ、映画）の聖地
- 「第2次安曇野市総合計画 基本構想・後期基本計画」（策定中）との整合及び連動
 - ・「2 魅力ある産業を維持・創造するまち」
 - 地域独自の観光資源の活用、戦略的な観光プロモーション
- 統計情報に基づく現状と課題の整理・分析、将来像の設定とターゲティング

4 策定体制

- 策定検討委員会
 - ・本ビジョンの策定に向けて必要な事項を検討するために設置します。
 - ・アドバイザーとして、長野県観光機構に参加いただくほか、必要に応じて市内外の有識者を招へいし、多様な意見・情報を踏まえた議論の深化を図ります。

5 スケジュール(予定)

日程	時間	内容（予定）
令和4年3月		公募委員の募集（～4月中旬）
令和4年5月		市民・市内事業者アンケートの実施（～6月下旬）
令和4年7月14日（木）	13時30分～	第1回策定検討委員会 委員委嘱、概要説明、アンケート結果（速報）発表
令和4年8月5日（金）	10時30分～	第2回策定検討委員会 アンケート分析の発表、課題と特徴の整理、ビジョン方針検討
令和4年9月8日（木）	15時00分～	第3回策定検討委員会 基本戦略・施策体系の検討、目標（KGI）設置の検討
令和4年10月3日（月）	13時30分～	第4回策定検討委員会 重点プロジェクト・AP施策展開・目標（KPI）設定の検討
令和4年11月11日（金）	13時30分～	第5回策定検討委員会 推進体制、点検・評価体制の検討、ビジョン・AP（案）承認
令和4年12月		パブリックコメント（～1月中旬）
令和5年1月12日（木）	13時30分～	第6回策定検討委員会 ビジョン、APの承認
令和5年3月		策定

※この策定方針は、今後の策定過程で変更する場合があります。

担当：安曇野市商工観光スポーツ部 観光課
 TEL 0263-71-2055(直通)
 FAX 0263-72-1340
 E-mail kankokoryu@city.azumino.nagano.jp

資料 2

第2次安曇野市観光振興ビジョン策定検討委員会 委員・事務局名簿(敬称略・順不同)

委員名簿

	団体名・役職	氏名	根拠規定
1	公募委員	丸山 君恵	1号
2	公募委員	加藤 進	1号
3	公募委員	仙石 弘子	1号
4	松本大学(総合経営学部観光ホスピタリティ学科) 学部長	尻無浜 博幸	2号
5	安曇野市観光協会 副会長	衛藤 悦郎	3号
6	安曇野市タクシー運営協議会 会長	小岩井 清志	4号
7	安曇野市山岳観光推進実行委員会 監事	中村 梢	4号
8	安曇野市観光振興ビジョン有識者会議 副会長	白澤 勇一	4号
9	安曇野市商工会 地域振興課長	中澤 美穂	5号
10	あづみ農業協同組合 理事	西山 直美	5号
11	東日本旅客鉄道株式会社 長野支社 豊科駅長	青柳 靖決	5号
12	国営アルプスあづみの公園 顧問	宮田 弘康	6号

事務局名簿

	所属・役職	氏名	
1	商工観光スポーツ部 部長	野口 武史	
2	商工観光スポーツ部 観光課 課長	下里 強	事務局
3	商工観光スポーツ部 観光課 観光促進担当 係長	高野 貴史	事務局
4	商工観光スポーツ部 観光課 観光促進担当 係長	丸山 一良	事務局
5	商工観光スポーツ部 観光課 観光施設担当 係長	由井 太介	事務局
6	商工観光スポーツ部 観光課 観光施設担当 係長	小林 健	事務局
7	商工観光スポーツ部 観光課 観光施設担当 (観光促進担当兼務)	黒岩 慶太	事務局
8	商工観光スポーツ部 観光課 観光促進担当	延本 琉伊	事務局

委員プロフィール

1号:公募委員①



丸山 君恵さん(まるやま・きみえ)

静岡県出身。子どもの頃に見たテレビ番組がきっかけで、「老後は絶対に安曇野に住みたい」と決意。大人になってから何度も観光で訪れていたが、ついに4年前に移住した。安曇野の景色が好きで、自分で撮った安曇野の風景をSNSで発信している。「観光客と住民の目線でお手伝いできれば」との思いで、公募委員に応募した。

【丸山さんが考える「観光によるまちづくり」】

- ・長期滞在してもらうための仕組みづくり
 - 国営アルプスあつみの公園のさらなる活用。山のテーマパーク化。ホルダリングやキャンプ用品のショップを併設。
 - 近代美術館のバラグッズ販売の充実。インターネット販売。
 - ガラス市、犬の市、猫の市など、多くの人が興味をもつイベントの開催。

さらなる提案!

・「アルタスフルーツ」とコラボした、吹奏楽の音楽フェスの開催

(※アルタスフルーツ=安曇野市にあるフルーツ製造メーカー。玄人向けで、業界でも一目置かれているメーカー)

・観光案内所(土産店なども)での、デジタルサイネージによるフォトコン写真展示

←観光客が自分で撮った写真を帰りに投稿する動機づけ・友人・知人に見せたい(再訪の動機付け)

・自分でつくる観光MAP

←①無地の観光MAPをもって安曇野を観光 ②各観光施設にはMAP用シールがある ③行って良かった場所のシールをMAPに貼る ④自分だけの観光MAPが完成 ⑤ネットにアップして共有 ⑥人気ランキング形式で活用

・マラソン初心者向け、ハーフマラソン走り方講座

←ハーフマラソン参加に向けた長期・複数回のトレーニング講習会。せっかくなら、安曇野で練習したいと思う人は多い!

1号:公募委員②



加藤 進さん(かとう・すすむ)

神奈川県横浜市出身。仕事で全国各地を飛び回っていたが、山登りが好きで北アルプス登山で訪れるうち、いずれは自然豊かな安曇野で暮らしたいとの思い、退職後、8年前に移住した。これまでも「都市計画審議委員」「環境審議委員」などを歴任。「安曇野市が持つ独自の観光資源を十分に活かした、さらなる観光振興のお手伝い如果能できれば」とのこと、公募委員に応募した。

【加藤さんが考える「観光によるまちづくり」】

- ・点から線へ、線から面へ、と裾野を広げた観光。複数の観光資源を組み合わせたセット観光。
- ・安曇野ファンづくりの推進。訴求力のあるリピート型観光への取り組み。
- ・旅行会社、地元観光事業者、市との横断的な連携。観光事業者への提案型観光の推進。
- ・近隣自治体との連携による相乗効果
- ・市役所内での関係部署との横断的な取り組みの試み
- ・見学型から主体的、体験型観光の企画、立案
- ・四季を通じた観光の充実

さらなる提案!

・パンフレットの充実

薄い、概要のみのパンフではなく、内容が充実して1冊で安曇野観光がすべてわかるパンフレットを!(参考:宮古島パンフ)

1号:公募委員③



仙石 弘子さん(せんごく・ひろこ)

東京都大田区出身。高校生の時に修学旅行で蝶ヶ岳初登頂、その後子育ても落ち着いた7~8年前から登山を再開。登山仲間とともに、国内外の山に登頂。令和元年夏、常念岳から下山した際、移住を決意。2年前より穂高有明にて「ヒロマゲストハウス」を営む。10カ月に及ぶトレーニングを経て、令和4年1月、大好きな北アルプスの山々(蝶ヶ岳から燕岳)を英語でガイドする資格、安曇野市地域通訳案内士※を習得した。それをきっかけに、登山前後の観光・体験への、ガイドとしてのかかわり方を考えるように。「大好きな安曇野を、山以外にもたくさん楽しんで欲しい」との思いで、公募委員に応募した。

【仙石さんが考える「観光によるまちづくり」】

- ・公共交通機関の充実。
市営バス運行、周回バスルート拡張・増便。マイカーを持たない人が楽しめるまちづくり。
- ・人気登山口への送迎バスの充実。
三股、一ノ沢へのバス運行。バス充実による駐車場戦争の解消 → 街中宿泊の推進
- ・オフシーズンでも楽しめる安曇野をアピール。
冬だから楽しめる安曇野の魅力の開拓。

さらなる提案!

※地域通訳案内士とは

通訳案内士法に基づき、各自治体が認定する外国語ガイドの資格。国家資格である「全国通訳案内士」に準じた制度で、高度な外国語能力に加え、自然・歴史・文化など様々な分野に関する知識や、ゲストをもてなすホスピタリティ能力が求められる。安曇野では令和3年3月に県内市町村では初めて制度を導入し、現在シティガイド13名、ハイキングガイド3名が認定を受けている。

・宿泊施設と登山口(三股・一ノ沢)を結ぶ予約制循環バスの運行

駐車場戦争の解消、市内宿泊施設の利用促進、安全な登山 → 朝(登るとき)と夕(降りるとき)に限定、予約制にしてコスト管理

・里山から3000m級登山まで! 登山ガイドによるステップアップ登山講習会

4月の桜の時期から里山登山でトレーニング開始。徐々にステップアップし、夏には燕岳へ! 登山道具の購入も店でアドバイス。

➡ 登山しやすい環境を整えることで、安全な登山を実現!

2号:学識経験者



尻無浜 博幸さん(しりなしはま・ひろゆき)

鹿児島県阿久根市出身。松本大学総合経営学部 観光ホスピタリティ学科教授。令和4年4月から総合経営学部長を務める。主要学科目は、社会福祉概論で、台湾におけるアクセシブルツーリズムガイドブックのほか、「福祉行財政と福祉計画」や社会福祉士国家試験対策用語辞典など著書多数。これまで、安曇野市地域福祉計画推進・策定委員会(委員長)を務めたほか、各自治体付属機関の委員や会長を歴任。

3号:観光協会



衛藤 悦郎さん(えとう・えつろう)

大分県豊後大野市出身、昭和35年生まれ。一般社団法人安曇野市観光協会副会長。12年の都市銀行勤務を経て、平成7年に穂高ビューホテルの取締役就任、平成27年からは代表取締役を務めている。その他、安曇野で暮らすように泊まる実行委員会会長、安曇野神竹灯実行委員会会長。JTB中部圏誘致協議会理事を務める。

4号: 観光関連団体①



小岩井 清志さん(こいわい・きよし)

松本市出身、現在安曇野市在住。安曇野市タクシー運営協議会会長。昭和29年6月22日生まれ 現在68歳。松商学園高等学校卒業後都内の大学に進学。昭和57年4月叔父の経営する南安タクシー有限会社に就職。平成14年11月に代表取締役就任。将来のタクシー事業に不安を感じている中、貸切バス規制緩和をうけバス事業に進出。安曇野市発足以来地域公共交通デマンドタクシー(乗合事業)を経営タクシー、貸切バス、乗合バスを一人の乗務員が兼務することで公共交通を発展させることができると考えている。また、観光産業の活性化にも公共交通網の充実が必要不可欠と考える。一般社団法人安曇野市観光協会会長も務めている。

4号: 観光関連団体②



中村 梢さん(なかむら・こずえ)

松本市出身。安曇野市山岳観光推進実行委員会 監事。平成7年3月7日生まれ。母が山小屋を経営していたこともあり、小学校の頃から登山に親しむ。大学では長期休みを利用して、山小屋での住み込みアルバイトも経験。卒業後は白馬のホテルで働いていたが、令和元年、急逝した母に代わり、有限会社蝶ヶ岳ヒュッテの経営を引き継いだ。「実は根っからの山好きではない」という自身の特徴を生かし、「今、山に興味がない人にも、どれだけ興味をもってもらえるか。登山者の裾野を広げていきたい。」と考えている。

4号: 観光関連団体③



白澤 勇一さん(しらすわ・ゆういち)

安曇野市出身。安曇野市観光振興ビジョン有識者会議 副会長。穂高町役場職員を経て、合併にともない安曇野市職員に。行政では、観光課をはじめ、さまざまな業務を経験。市民生活部参事を務めて退任後、令和元年度からは観光協会へ。現在は専務理事を務めている。

5号: 関係機関・団体①



中澤 美穂さん(なかざわ・みほ)

松本市出身。安曇野市商工会 地域振興課長。地域振興や経営支援に関する業務を行う。県外・市外事業者から移転や創業の相談に対応するなかで、安曇野のブランド力を日々実感。「外の方が、安曇野のどんなところに魅力を感じているのかを理解し、“安曇野ブランド”を市産業の活性化に活かしていきたい」。

5号:関係機関・団体②



西山 直美さん(にしやま・なおみ)

大町市出身。令和3年より、あづみ農業協同組合にて女性部担当の理事を務める。JA女性部では安曇野ハーフマラソンのおにぎり配布などに協力するほか、西穂高支部では、「信州の伝統野菜」に認定されている「牧大根」の生産拡大・普及を目的とした「牧大根プロジェクト」を平成18年から実施。6次産業化の商品「うんめえ漬け」を販売している。趣味は、ガーデニングや絵画。

5号:関係機関・団体③



青柳 靖決さん(あおやぎ・やすひろ)

松本市出身。JR東日本 豊科駅長。長く車掌を経験したのち、指導員として北陸新幹線の車掌等の育成に携わる。市内の農家の女性と結婚し、15年ほど前から安曇野に居を構え、休日には農業の手伝いをしている。令和3年9月、豊科駅長に就任したのを機に、改めて安曇野の良さに気づくようになり、美しい風景などを写真に収めている。趣味はドライブと、飛行機(戦闘機)の撮影。

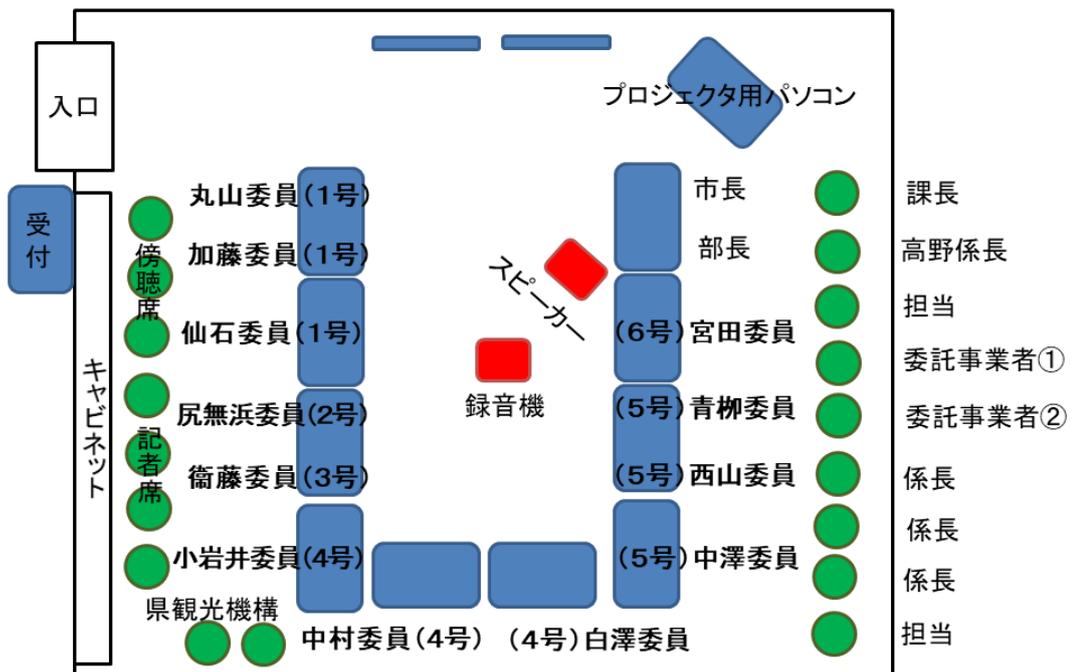
6号:市長が認める者



宮田 弘康さん(みやた・ひろやす)

昭和29年生まれ、卒業後旅行会社勤務(内、3年間海外勤務)。旅行会社勤務中にオリンピック招致担当として長野県へ出向。その後、長野県に勤務(主に観光行政を担当)。その後、国土交通省に勤務(主に地域振興を担当)。現在は、国営アルプスあづみの公園の顧問を務めている。

席次表



資料 3

安曇野市告示第147号

第2次安曇野市観光振興ビジョン策定検討委員会設置要綱を次のように定める。

令和4年3月23日

安曇野市長 太田 寛

第2次安曇野市観光振興ビジョン策定検討委員会設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、将来の市の観光振興の基本方針となる第2次安曇野市観光振興ビジョン（以下「ビジョン」という。）の策定に向けて必要な事項を検討するため、第2次安曇野市観光振興ビジョン策定検討委員会（以下「委員会」という。）の設置及び運営について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) ビジョンの策定に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、ビジョンに関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員12人以内をもって組織し、次に掲げる者又は団体に属する者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 公募により選考された市民
- (2) 学識経験を有する者
- (3) 安曇野市観光協会
- (4) 観光に関連する団体
- (5) 関係行政機関、団体等
- (6) その他市長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱された日から令和5年3月31日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、会議の議長となる。

- 2 委員長が必要であると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴き、又は説明を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、商工観光スポーツ部観光課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会に関して必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、令和4年3月23日から施行する。

(失効)

2 この告示は、令和5年3月31日限り、その効力を失う。

(庶務の特例)

3 令和4年3月31日までの間、委員会の庶務は、商工観光部観光交流促進課において処理する。

(会議の招集の特例)

4 この告示の施行の日以後、最初の会議は第6条の規定にかかわらず、市長が招集する。